



英米文学科同窓会 第 37 回セミナー

オースティンの小説『説得』を読む 全 3 回

講師 久守 和子先生 (フェリス女学院大学名誉教授)



1942 年生まれ。青山学院大学大学院修士課程・博士課程修了。中米のコスタリカ大学 (1977-79 年)、京都のノートルダム女子大学 (1980-87 年)、横浜のフェリス女学院大学 (1987-2008 年) などで教え、現在フェリス女学院大学名誉教授。

著書に『イギリス小説のヒロインたち——〈関係〉のダイナミックス』ミネルヴァ書房、1998 年。『ラブレターを読む——愛の領分』(共著) 大修館書店、2008 年。『旅にとり憑かれたイギリス人——トラヴェル・ライティングを読む』(共編著) ミネルヴァ書房、2016 年など。

ジェイン・オースティン (Jane Austen, 1775-1817) は、『高慢と偏見』(*Pride and Prejudice*, 1813) や『エマ』(*Emma*, 1815) のヒロインを当時の結婚適齢期である、華やかな 20 歳頃に設定した。ところが、完了したものとしては最後の作品となった『説得』(*Persuasion*, 1817) のヒロイン、アン・エリオット (Anne Eliot) は 27 歳、婚期をとうに過ぎている。彼女は 8 年前に婚約を心ならずも破棄した恋人ウェントワース (Wentworth) と再会、彼が若いルイーザ・マズグロウヴ (Louisa Musgrove) と日々親しさを増していく様子を目撃することとなり、動揺を隠せない。ウェントワースの一挙手一投足を見つめ、寂寥感に駆られるアンの中に、ある日、かすかな希望が生まれ、やがて誤解がとけ、大きな歓喜の渦に巻き込まれていく。彼女の一連の内面の動きは、それ自体ドラマとなり、ヒロインの肌理細やかな観察眼、視点そのものが作品となる。

今年は、オースティン生誕から数えて丁度 250 年に当たる。秋の季節に相応しい『説得』を読み、オースティンの絶妙な筆致を楽しみたい。(講師)



Austen の家



周辺の緑多い小路



Austen の兄の館



開催日時: 2025 年 10 月 11 日 (土) 14:00~16:00

10 月 25 日 (土) 14:00~16:00

11 月 8 日 (土) 14:00~16:00

(最終回終了後に茶話会を予定)

会 場: 短大北校舎 1 階 N103 教室

会 費: 3000 円 非維持会員は 4000 円

(現役学生は無料)

申込方法: 下記の英米文学科同窓会ホームページ掲載の「参加申し込みフォーム」より 2025 年 9 月 26 日 (金) までにお申し込みください。

* パソコン等を使用されない方は別紙の FAX 用紙にご記入の上、送信をお願いいたします。

問い合わせ先: 青山学院大学英米文学科同窓会

E-mail aogaku.eibun.alumni2020@gmail.com

FAX 03-3409-8975 (大学部会事務局内)



英米文学科同窓会 HP



参加申込フォーム

青山学院大学英米文学科同窓会ホームページ <https://www.alumni-aoyamagakuin.jp/englishdept/>

2 年ぶりのセミナーです。ぜひご参加ください。